

一、彼我兩軍狀況ノ概要

當師團警備地内ノ情勢

ハ、湖州警備隊ヨリノ情報

ハ、一月二十三日長興警備隊所屬ノ一々中隊ハ同日午前八時駐化地出發

林城橋西南方梅溪鎮附近掃蕩ノ際、便衣ヲ着セル約百名ノ敵ト遭遇シ

其約四十名ヲ斃シ之ヲ殲滅的打撃ヲ與ヘタリ

我損失員傷五名

四、湖州北部警備隊中隊ヨリノ情報ニ依リハ一月二十三日午前三時頃土匪約

十二名(小銃若干有ス)現ハレ民家ヲ襲ヒ家財道具類ヲ掠奪セリ

2. 長興警備隊ヨリノ情報

ハ、一月二十三日午後二時頃水口鎮ニ便衣(支那長服)ヲ着スル敗殘兵三

十名現ハレ煤山方面ニ逃走セリ

四、林城橋附近情報

一月二十二日、長興會田少佐ノ指揮スル第五、第七中隊ノ一小隊ハ

隊ハ太平橋一送大橋一梅溪鎮附近ニ討伐シ出勤シ翌二十三日午前九時

二十分頃梅溪鎮北方約一公里(水田一帯)道上ヲ前進中後方山林及東方

クリン堤防上ヨリ突如約七十名(輕微一有ス)ノ十字火ヲ受ケ大隊ハ

直ニ應戰敵ヲ東北方ニ潰走セシメタリ

敵ニ與ヘタル損害約四十名

我獨害輕傷者五名、豫備馬一頭、
 (一) 一月二十日正午頃、長興警備隊所屬ノ天平橋警備中隊ハ掃蕩
 ノ爲メ天平橋附近ニ出勤中、其残留員ハ天平橋一梅溪鎮ノ中間地處
 極メテ險然ナルヲ知り一部ノ下候ヲ同方向ニ偵察ノ爲メ派遣セリ、該下候
 ハ口伍長以下四名ハ敵大士ニ遭遇シ之ヲ攻撃シタルニ敵ハ増兵シ来リ逆
 ニ包圍攻撃ヲ受ケタルニ至リ乍候、四名ノ内竹内一等兵戰死シ、山口伍長
 大島一等兵ノ二名ハ行衛不明、市川一等兵ハ重傷ヲ負ヘリ、
 中隊ハ掃蕩ヲ取還後右情現ヲ知り直ケニ一小隊ヲ派遣シ、當大隊長ハ
 一々中隊ヲ同地附近ニ派遣シ之ヲ掃蕩セリ、敵ハ約四十ノ死体ヲ残シ何
 レカニ逃走セリ、
 其ノ後引續キ二名ノ行衛不明ノ者ヲ搜索スルモ發見スルヲ得ズ、目下
 諸方向ニ對シ一小隊以上ノ兵力ヲ出シ搜索ヲ續行中ナリ、
 (二) 湖州北部警備中隊ハ過般湖州東北方ニ將無名部ヲ附近ニ發テ土匪
 匪兵ヲ押収セルモ其後受ケ、二回ニ亙リ搜索シ、計小銃五挺、藥金
 附帶劍一ヲ押収セリ、
 (三) 新堀口西方約三將北張漢ニ於テ三回々名ノ敗殘兵(輕機一ヲ有ス)
 ヲシキモノ維持會分會長ヲ龍根ニ同部、康族ニ名ヲ入、質トシテ格致シ
 南望山方向ニ去レリト、
 (四) 通信班ヨリノ通報ニ依レバ長興一林城橋電話線ハ二回切斷セラレタリト
 如ク、警備地内ノ監視ヲ爲ス、

一月二十一日 長谷鎮警備地區

一月二十四日 武康警備地區

西警備隊共軍紀風紀ハ概不嚴正ニシテ警備亦嚴重ニ実施セラレ

アルニ各警備地區内ノ敗残兵ハ漸次匪賊化スルノ傾向アルニ鑑ミ治安

維持ハ一層留意服務セシメツツアリ 其他宿營狀態、經理衛生夫ニ

其地ニ適スル工夫及施設ヲ爲シ概不適切ニ實施セラレアリ

特ニ教育訓練ハ着々其實績ヲ著ケアルモ未ダ十分ト認メ難キヲ以テ

機會教養月ヲ獎勵励シ且教へ且戰フレノ主義ヲ徹底セシムル如ク要請セリ

一月二十二日 湖州警備隊ニ付記命令ヲ英へ掃蕩其他諸工作ヲ實施
セシム

第一百十四師團命令

一月二十二日
湖州

一 湖州警備隊ハ長興武康警備隊ノ各一部ヲ併テ指揮シ東西方地區ノ掃

蕩ニ任スヘシ

二 長興武康警備隊ハ二十四日以後右掃蕩南大隊長ノ指揮スル一部隊ヲ

湖州警備隊司令官ノ指揮ニ入ラシム

(四) 湖州警備隊ハたノ如ク掃蕩隊ヲ編成シ一月二十五日日没後天々其主力ノ行

動ヲ開始ス

(五) 林部隊(武康警備隊ノ步兵三中队、機關銃一小隊、而團無線)ハ三橋埠出

發一部ヲ以テ山河埠「ベリッ」道ヲ「ベリッ」南方高地線ニ主力ヲ以テ

小市鎮一和平道ヲ和平ニ向ヒ

(三)大塚部隊(長興警備隊ヨリ兵力山ニ同シ)ハ長興出發一部ヲ以テ同地ヨリ南進シテツオンバイニ主カヲ以テ林城橋方向ヨリ小口溪ニ至ル陸路及水路ヲ小口溪ニ向ヒ

(四)西村部隊(湖州警備隊ノ歩兵ニ中隊、機関銃一小隊、師團無線一)ハ湖州出發、西村ハツオンバイニ道ヲツオンバイニ向ヒ

(五)警備隊長ハ歩兵一中隊、師團無線一分隊ヲ直轄シ西村討伐隊ノ近路ヲ南西側地區ニ向フ

(四)各部隊ノ行動

各部隊ハ一月二十六日未明敵根據地ヲ奇襲シ同地附近一帯ノ掃蕩ヲ實施シタル後翌ニ十七日夕迄ニ各警備地區ニ大々帰還ス其ノ成果ノ概要左ノ如シ

(一)西村部隊

安藤先遣隊ハ一月二十五午後四時過南西側高地ニ據リ輕機ヲ有スル敵約百名ト遭遇シ交戦ニ時間ノ後午後六時四十分ニ西南方ニ潰走セシム

敵ノ遺棄死体ニ 我ニ損害ナシ

林 部隊

一月二十六日午前五時五十分ハ市鎮ニ於テ集合中ナリシ輕機一、小銃ニ
ヲ有スル敵十名ヲ急襲シ殲滅シタル外掃蕩中殘敵五名ヲ射殺ス
我ニ損害ナシ
鹵獲品、輕機（捷克式）一、ロスタンダート、モーゼル銃ニ、

大塚 部隊

一月二十六日永明泉溪附近ニ於テ三四十ノ敵ヲ攻撃シ其大部ヲ殲
滅セリ
敵ノ遺棄死体ニ十四 我ニ損害ナシ

本掃蕩ノ結果該地區附近ニハ吳興縣抗日遊擊大隊（隊長鄧士龍、
副官彭林政訓、主任王文林）兵力約三百（MG、LAヲ有ス）横行シアルコト
ヲ知り得タリ

六 師團ハ引續キ警備治安維持ニ任シ轉進ノ諸準備ニ遺憾無キヲ期シツ
アリ

給養衛生ニ関スル事項 給養ニ就テ

本司ニ於テハ後方ヨリノ補給ハ十分ナリトハ云ヒ得サルモ前同ト大差ナク
市内ノ商家ノ復業スル者漸増シ肉類ヲ除クノ他ハ物資ノ移入多ク概ネ
良好ナル給養ハ爲シ得タルモ次期作戦ニ備ヒ一層ノ向上ヲ圖ルヘク努力
シツツアリ
本司ニ於ケル主要ナル處置事項次ノ如シ

- (一) 各經理機關ヲ愈々督励シ業務進捗ノ度ヲ高メヌ被服其他給養器具
等ノ整備ヲ完全ナラシムヘク調査ヲ行ヒ之カ更新補填ノ方法ヲ講シ完全
ナル整備ヲ期シツツアリ
- (二) 近ク移動ヲ顧慮シ所要ノ前渡金ヲ請求ス
- (三) 前同ニ引續キ被服ノ補修ヲ衣糧廠修理班ニ依リテ實施セリ
- (四) 野戰經理長官、軍經理部長、師團參謀長ヨリ今回ノ事變ニ於ケル体験
ニ基ク意見ノ提出ヲ求メラレタルヲ以テ關係事項ニツキ意見ヲ提出セリ

2、衛生ニ就テ

(1) 被服糧食宿營ノ状況ハ概ネ良好ニ保持セラレアリ

四、患者ノ狀況

本句間各隊ニ賜ケテスコハラケテスルノ散發スルヲ見之カ防疫ニ關シハ蘭係諸官ヲシテ其ノ徹底ヲ期セシメ各部隊長ニ對シテハ屢々個人衛生ノ普及徹底ヲ要望シ印刷物ヲ傳染病豫防ニ就テレヲ配布スル等各種ノ手段ヲ盡シツツアリテ其後續發ノ模様ナシ發生ノ原因ヲ探究スルニ何レモ行軍間ノ衛生軍紀ノ不徹底ニ由ルモノト思惟セラル

給水ニ對シテハ石井式瀝水機ノ活用ヲ要望シ良好ナル成績ヲ収メツツアリ

衛生材料ノ補給ハ湖州衛生材料支廠ニヨリ行ハレ轉進ニ對シ萬遺漏ナキヲ期シツツアリ

馬匹衛生一就

(1) 本旬間各隊ハ專ラ馬匹ヲ休養セシメ疲勞ノ恢復、栄養ノ改善ヲ圖リ、
第ニ次作戦ニ對スル戦力増進ニ努カシツアルモ未タ恢復ノ域ニ達セス
僅カニ其ノ曙光ヲ認ムル状態ニテ栄養不良馬尚多數アリ

(2) 馬繋場ハ各隊共現地物資ノ蒐集ニ依リ假厰舎ヲ急造シ保温防湿ニ
努メ疾病ヲ豫防セリ

(3) 前旬發生シタル流行性感冒モ直ニ豫防計畫ヲ樹テ防疫ニ努メタ

(11) 前旬發生シタル流行性感冒モ直ニ豫防計畫ヲ樹テ防疫ニ努メタ

以前何發生シタル流行性感冒モ直ニ豫防計畫ヲ樹テ防疫ニ努メタリ

(一)(二)ル結果大ナル蔓延ナク経過順調ニシテ終息キ近ツキツアリ
馬糧ハ漸次増量セラレ畧々定量ニ近キ補給ヲ受クルニ至レリ
一月三十日より鼻疽検査防疫計畫ニ依リ人員施中ナリ。